

# 眉毛サロン 増える男性客

## 身だしなみとして注目

### マスク着用→目元重視/ウェブ会議→顔に意識



宮田店長と相談しながら眉毛をカットしてもらう竹友さん

眉毛を専門サロンなどで整える男性が、広島市内でも増えている。短時間で済み、プロのアドバイスを受けられる。新型コロナウイルス禍でマスクの着用が増えて目元の印象が注目されているほか、ウェブ会議で自分の顔をよく見るようになったことも影響していると考えられる。男性の美意識の変化も背景にありそうだ。(加納亜弥)

「ストレートの右眉に対して左眉は角度がある。形はどちらに近づけましょうか。広島市中区のヘアメーク・ネイル専門店「アトリエ」はるか紙屋町シャレオ店では、宮田奈緒店長(24)が丁寧に接客していた。相手は肩カットが初めてという建築士の竹友翔一さん(34)。左眉の角度を取ることで、柔らかい雰囲気にするスタイルに決まった。はさみで毛をカットして全体の形を決め、周りをシェーバーですべて完成。所要時間10分で2千円。竹友さんは「変わるもんですね」と納得。施術を勧めた妻の佳枝さん(38)も「見違える。清潔感が全然違う」と満足した。コロナ直前の2019年に133人だった同店の男性客は、21年には1・7倍の230人を超えた。宮田店長は「マスク姿が日常になり、眉を気にする男性が増えた。最初はどのような不安な方が多いけれど、自然な仕上がりに安心されますよ」という。リクルート(東京)の調査研究機関「ホットペッパービューティーアカデミー」の田中公子研究員は、今まではあまり見なかった男性が、ウェブ会議で自分の顔を見つめる機会が増えたからでは」と分析する。同機関が男性2441人を対象にしたアンケートでは、約15%が美容院などで髪を切るついでに眉もカットしていた。おしゃれ目的よりも、身

だしなみとして注目が高まる眉毛ケア。竹友さんのように周囲の勧めでサロンに行くケースも多い。08年から営業する中区のメンズエステサロン「パルファム」でも眉カットの客が増え、妻やパートナーから予約が入ることも多いという。「ひと昔前だと、眉毛を整えるのは若い世代。自己流で細くなり過ぎていたし、『男が眉毛を整えるなんて』という硬派な中年層も多かった」と高山知子オーナー(47)は振り返る。見た目を美しくすることに對し、周囲の意見を抵抗なく聞ける男性が増えたのかもしれません」



牛乳パックを用いて紙を作る園児

### 卒園証書の紙 園児が手作り

安佐南

広島市安佐南区の「戸山の森のようちえん おてんとさん」の園児10人が、牛乳パックを用いて卒園証書などに使う紙を作った。3月12日にある卒園式で使われる。今田典子園長(43)が手順を指導し、フィルムをはが

### 広島市中区本通り・八丁堀エリア

### ぐるっとわがまち

### 歴史刻んだ銘板見つけて



路面に埋め込まれた「平田屋町」の銘板を説明する望月さん

本通り商店街 城下町の名を示す9枚  
本通り商店街を歩いてい「平田屋町」「二丁目御門」などと、路面に「西国街道」などと書かれた9枚の銘板



9枚の銘板があるエリア

を見つけた。江戸時代の旧町名や、広島城に通じていた門の場所を表しているという。現在の商店街は、かつて

「平安祭典」

広島城下を横断する西国街道の一部だった。「街道が通ったことで経済的に発展したんです」。広島本通商

### ラッピング 幸せも包んで 京口門通りに人気教室



箱やボトルのラッピングを教える山口さん

京口門通りに面したビル  
の階段を上ると、珍しい教室に出合った。リボンの結び方や包装を学ぶ「女性のためのラッピング教室」。包装の奥深さに魅了された講師の山口恵子さん(42)は、独学から始めて「ラッピングの達人」に。2010年

に教室を開いた。これまでの受講生は県内外から計約3千人と人気は上々だ。「頭の体操に」「趣味を見つきたい」。小学生から70代まで、受講理由はさ

店街振興組合元理事長の望月昭さん(79)が教えてくれた。市民団体「西国街道散策会」の佐々木卓也会長(67)から「本通りに城下町たるゆえんの銘板を残してほしい」との依頼を受け、同振興組合が2003年4

月に設置した。戦後、忘れられつつあった名を残す狙いもあった。例えば、現在のパルコ広島店付近を指す旧町名「平田屋町」。出雲から毛利輝元に招かれ、城下町の建設に尽力した平田屋惣右

衛門にちなみ名付けられた。「革屋町」は革の染色業者が20軒あったとされる。「はるか昔の姿も想像して」と望月さん。通りの歴史を後世に伝える。(阪本茉莉)

まま。新型コロナウイルス禍で在宅時間が増え、新たに始めた人もいるという。箱やボトルなどの包装技術のほか、幅数リ短冊状の紙をくるくると巻いてアート作品に仕上げる「クイリング」という手芸や、モールを使った作品なども要望に応じ手ほどきする。「材料から選んで、相手に思いを伝えることができるのが魅力。ラッピングをきっかけに人生に彩りが加われば」と語る山口さん。誰かの喜ぶ顔を想像しながら、今日も幸せな気持ちで包み込む。(江頭香暖)

次回回は広島市安佐南区長束エリアを予定しています。

## 広島都市圏

報道センター社会担当  
FAX(236)2321  
電子メール  
houdou@chugoku-np.co.jp  
安佐北支局  
☎082(812)0018 FAX(819)0088  
西広島支局  
☎0829(31)0317 FAX(20)1035  
大竹支局  
☎0827(52)2925 FAX(54)0020  
安芸海田ステーション  
☎082(822)0301 FAX(821)2636  
北広島支局  
☎0826(72)2171 FAX(72)7021